

すなやま支援員

VOL.49

だより



令和4年5月 発行

発行者:砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設:ぎよぎよかい めてたや

住所:塩谷1181 電話・告知端末:62-7273



ジャガイモ・玉ねぎ高すぎる!



台風や大雪、水不足など気候の影響を受け、収穫量が大きく変わる野菜。旬の時期は比較的安い価格で手に入るイメージがありますが、生育状況によっては意外と高値で手がでないこともあります。比較的安定した野菜であるはずの玉ねぎとジャガイモが昨年から引き続き高騰し、とりわけ玉ねぎは高値が長期化しそうです。



高騰の理由 収穫量減

北海道の玉ねぎ・ジャガイモは、収穫直前の昨年の7月に気温が高く、雨が少ない日が続いたため小ぶりなものが多くなり、仕入れ値が上がっています。玉ねぎは縦に大きくなってから、横に太くなるのですが、太くなる時期に、雨が降らなくて“縦長、小ぶりな玉ねぎ”が多い。収穫量は例年の2割減。

北海道は、全国の生産量の65%を占めているため、収穫量が減った影響は全国へと広がったのです。

以前まで、5個一袋などの袋売りだった、玉ねぎやジャガイモも、最近では1個いくらのばら売りに。あまり主役にはなりません、料理に欠かせない玉ねぎとジャガイモの高値は、地味に食卓に直接影響を及ぼしそうです。

他の食材や調味料なども原材料高騰で、次々値上げで家計にも苦しくなってきます。



連休前に玉ねぎ一小折6,000円台で、玉ねぎを仕入れるのを断念。どうしてもメニューに必要な人しか購入しなくなるので、販売数も減り、結果芽が伸びて、新鮮じゃなくなった玉ねぎは廃棄するので、赤字になると、その損失を取り返すのに、小さいお店はかなりの苦勞をすることになります。

新潟県の玉ねぎの収穫時期は6月頃、倒伏後は速やかに晴天で土が乾いた日に収穫するとのこと。今年は砂山地域の玉ねぎが豊作になることを願いながら、収穫までの1か月半をどう乗り切るか、考えようと思います。

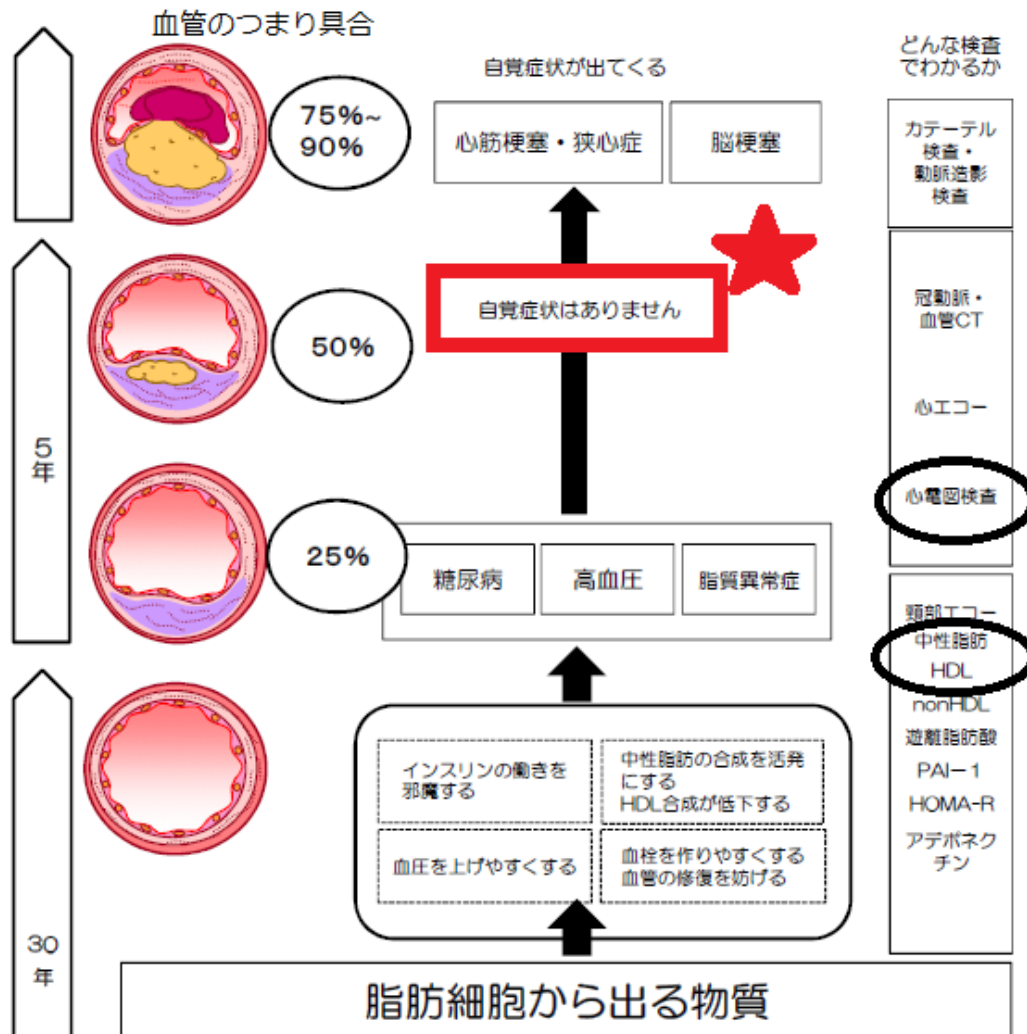
小さい玉ねぎ詰め放題とか企画できればみなさん喜んでくれるかな？



1年に1回、健診受診をお勧めします！ ～健康は血液・血管から～

5月から、特定健康診査（特定健診）が始まります。

特定健診は血管を傷つける生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）の予防・早期発見を目的とする健診です。腹囲を測るのでメタボに注目されがちですが、太っていなければ大丈夫というわけではありません。生活習慣、加齢、遺伝も血液や血管の状態に影響を及ぼしています。



自覚症状は心筋梗塞や脳梗塞になるまでありません。予防のため、健康を維持するために健診の受診をお勧めします。

市の特定健診を申込みした方には、受診券を発送しました。受診券が届いていない方、これから健診を申込みする方は、地域福祉室まで連絡をお願いします。

神林支所地域振興課地域福祉室
☎ 66-6113 (直通)

すなやま支援員だよりについてご意見、ご感想などお気軽にお問い合わせください。
メールアドレス sunayama-shien@sea.plala.or.jp